

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	さの かずや	
氏名	佐野 和也	
所属・役職	京セラみらいエンビジョン株式会社 デジタルプラットフォーム事業部 プラットフォームサービス部 ソリューションサービス課 責任者	
活動拠点	全国	
略歴	1997 年 気仙沼市役所入庁 1997 年 ガス水道部管理課業務係 1999 年 民生部高齢介護課保険料係 2003 年 民生部高齢介護課事業推進係 2004 年 民生部高齢介護課保険料係 2005 年 教育委員会教育総務課総務係 2012 年 震災復興・企画部情報化推進室（現情報政策課） 2018 年 議会事務局議事係 2019 年 気仙沼市役所退職 2019 年 KCCS モバイルエンジニアリング株式会社（現 京セラみらいエンビジョン株式会社）入社 現在に至る	
地域情報化の 専門分野・技術	・ 情報システム全体最適化・計画策定 ・ 情報セキュリティ強化 ・ 情報システム調達 ・ 地域情報プラットフォーム ・ マイナンバー制度 ・ 地域情報化全般 ・ 医療・介護事業領域の情報化	
専門分野	オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI 活用 生成AI活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用）自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム ネットワークインフラ（Wi-Fi／LPWA／光ネットワーク） デジタルデバйд対策 マイナンバー マイキープラットフォーム 防災教育情報化／情報教育 働き方 子育て テレワーク 医療・介護・健康 個人情報保護 スマートシティ プロジェクトマネジメント支援	

自治体向けメッセージ		一般的に DX と称される取り組みが声高に叫ばれて久しいですが、IT さえ活用すれば成功するわけではなく、その業務に関わる作業の見直しや人員体制、ルールなども含めて見直しをかけることが非常に重要であると考えております。 錚々たるご経歴の皆さまと比較すると未熟ではありますが、窓口部門、総務部門、情報部門とジェネラリストとして業務対応してきた経験や、情報分野だけではない各種計画策定や事業実施にも実務レベルとして携わってきた経験からも、特に前職の同規模クラスの自治体様向けに、地に足のついた行政・地域情報化施策となるご支援が可能かと考えております。
関連サイト		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	【ガス水道部管理課】 1999 年 水道事業各種手数料システム構築 【民生部高齢介護課】 1999 年 ～ 2005 年 介護保険事務処理システム構築・保守（各種運用管理用、各種統計出力用 EUC ツールを制作） 【教育委員会教育総務課】 2006 年 市内小中学校向け予算管理ツール制作 2012 年 教育用 ICT 環境整備支援（全 34 校ネットワーク化、Office365、netcommons 導入） 【震災復興・企画部情報化推進室（現情報政策課）】 2011 年 ～ 2013 年 独自の被災者支援システム制作・構築（り災証明システム、災害義援金管理システム、被災者支援金管理システム、災害弔慰金管理システム、仮設住宅管理システム、被災者カルテシステム 教育委員会時より対応） 2012 年 地元ケーブルテレビ会社の災害復旧事業対応 2014 年 情報システム最適化事業開始（情報システム最適化計画・指針策定、庁内ワーキンググループ運営、BPR ドキュメント作成、庁内各部署のシステム企画に関する審査）、庁内情報システムヘルプデスク開設 2016 年 情報システム統合基盤構築（サーバ・ネットワーク再構築、CMS クラウド化、Office365 導入、Skype for Business 全庁導入） 2017 年 内部情報系システム再構築（文書管理システム、財務会計システム、管理契約システム、備品管理システム） 2018 年 基幹系システム再構築（住民情報システム、税システム、滞納管理システム、ほ保険システム、公営システム、マイナンバー連携システム、統合文字基盤システム）
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	【京セラみらいエンビジョン株式会社】 2023 年 あおもりヘルステックコンソーシアムに参画（IoT を活用したみまもりサービス実証）